

弘前大学医学研究科法医学講座で解剖を受けられた皆様へ

本研究科では下記の研究に用いるため、亡くなられた方の試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 法医解剖例の造血系諸臓器におけるマクロファージの形態と死因・全身病態の関係に関する研究

研究の目的

法医解剖による死因診断にあたっては、死亡直前の全身状態の把握がしばしば助けになります。目や顕微鏡で見てわかる全身状態の指標は多くありません。私たちは骨髄（血液を作る場所）における血液細胞の一種であるマクロファージの形の変化に着目し、全身状態（特に炎症）との関連を調べてきました。しかし骨髄以外の臓器におけるマクロファージの変化の詳細はまだまだ明らかになっていません。このたびの研究で私たちは、法医解剖を受けた方の全身臓器の形態変化、特にマクロファージの変化が死因や死亡直前の全身状態とどのように関連するのかを明らかにします。

研究実施期間： 実施許可日～2028年3月31日

対象となる方： 2015年6月1日から2022年12月31日までの間、法医解剖の対象となった方

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

対象の方につき、当講座において保存されている造血系臓器（骨髄・脾臓）および肺・肝臓のパラフィン包埋ブロックからプレパラート（主に血液細胞を検出する染色標本）を作成して、顕微鏡によりマクロファージの形や数の変化、血球貪食（活発になったマクロファージがほかの血液細胞を食べこむ現象）の程度などを評価します。

また対象の方の死因や関連する病態、年齢・性別、既往歴、生前の症状、救急医療の有無といった情報を抽出して、顕微鏡で得られた所見との関係を統計的に解析します。

利用にあたっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしません。

なお、このたび得られた資料や情報をほかの研究に用いることがあり得ますが、その際には別途倫理委員会の審査を受ける予定です。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、その方の試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	法医学講座・高橋 識志 連絡先電話番号：0172-39-5048
-------	----------------------------------